



☆目次

はじめに 私は故宮の「門番」

一 壮大で美しい紫禁城を完全なまま次の六百年に引き渡すために／歴代の「故宮人」たちの努力／「平安」から「ライトアップ」まで — 故宮の次の六百年のために

二 どれくらいの貴重な文化財があるか／故宮にはどれだけの「財産」があるのか／二十三の収蔵品分類／収蔵品の収集／故宮の貴重な収蔵品の例／「現象」にもなった故宮の展覧

三 故宮博物院は教育機関であり、研究機関でもある／麗しき風景— 故宮のボランティアたち／子どもに故宮を知ってもらおう／「故宮学」から「故宮研究院」まで

四 若者を感動させた職人魂／故宮の「考工記」／特別・特例の「百年に一度の大修理」／私は故宮で文化財修復をしています

五 管理改革— 斬新な参観体験を／より良い参観サービスのために／「閉」と「開」— 閉館日の設定と開放空間の増加／「分散」と「制限」 — ピークシーズンは混まず、オフシーズンは閑散としない／ビッグデータによる「トイレ革命」／外国VIPの車も進入禁止



六 「十億クラス」の入場者がいる博物館／SNSでいつも話題に／出すたびに人気を博すアプリ／ホームページのリニューアルとデジタル展示室／デジタル応用の多元化

七 故宮を飛び出る— 文化を伝える使者／一般家庭に入り込む／中国を巡回する／国連安保理の常任理事国には欠くことのできない強大な博物館／トランプ大統領の故宮参観

八 コーヒーを飲み、オリジナル製品を買う— もっと面白い故宮へ／素晴らしい故宮の文化・クリエイティブ製品／故宮の「ブランド」化

あとがき 文化の力



# 私は故宮の門番

単 霽翔 / 著 福井ゆり子 / 訳

壮大で美しい紫禁城を完全なまま次の六百年に引き渡すために北京・故宮博物院の文化財を再び人々の生活の中に戻すために名物院長が自ら語る！

2022年6月末 刊行予定

A5判 全264頁 ソフトカバー  
定価：3575円（本体3250円＋税10%）

ISBN 978-4-902769-92-0 C0030

「門」の中に「活」という字を入れると「闊」という漢字になるが、この漢字は「広い」「果てしない」という意味をもつ。故宮博物院で七年余り仕事をしてきたが、私というこの「門番」がやったきたことは、すべて「活きる」の活という字を、故宮の「門」の中に入れ、故宮という文化遺産を人々の生活に近づけ、より広い空間に向かわせるためであったと言えるだろう。



—本書より



取次：東京官書普及（株）

発売：日本出版制作センター

出版：尚斯国際出版社

貴店印・番線印

冊

ご担当

様

東京官報（返品フリー）

ご注文・お取り寄せは全国の書店、amazon、下記からも承ります。

FAX

03-4362-0075

メール

sip.syousei@gmail.com



株式会社 尚斯国際出版社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-11-505 ☎03-4362-0075

https://www.shosiinternacional.com